

1. はじめに

この度は、当社製品をご購入いただき、有難うございました。取り付け前に本説明書を熟読いただき、正しく取り付けて下さい。取り付けはすべて自己責任でお願いします。当方はいかなる場合も一切責を負いません。

【注意事項】

- ・左右それぞれ50Wまで対応しています。それ以上の電球には接続できません。装置が壊れる場合があります。
- ・コントローラは防水ではありませんので、必ず防水処理を行って設置して下さい。
- ・車によっては、明るく設定しすぎると熱でレンズが変形する場合があります。明るさ設定には十分ご注意下さい。
- ・LEDブレーキランプの場合はちらつく場合があります。
- ・本商品は車検対応しておりませんので、公道での使用は絶対にしないで下さい。
- ・電源を入れた状態で、本商品の白線または茶線をアースに接触すると壊れますので絶対にしないで下さい。

2. 製品構成

・コントローラ(緑3) 1個 ・ヒューズ付き専用ハーネス 1セット ・抵抗 1本 ・取付説明書 1枚

3. 配線方法

配線するときは必ずコネクタを抜いて作業してください。※は、接続しなくても動作します。

ケーブル線色	説明と主な接続先
① 黒	ボディアースへ接続。
② 赤	車両の常時+12Vへ接続。(12V専用で24Vでは使用できません。)
③ 白	左ブレーキランプ出力線へ接続。
④ 茶	右ブレーキランプ出力線へ接続。
⑤ 黄	接続しない。
⑥ 青	左ブレーキランプ入力線へ接続。
⑦ 紫	接続しない。
⑧ 橙	スモール線へ接続。
⑨ 灰	接続しない。
⑩ 桃	接続しない。

4. 機能説明

- ブレーキを踏むと設定回数ブレーキランプが点滅したあと、点灯します。ブレーキを放すと残光しながら消灯します。
- スモールランプを点けるとポジションランプ化することもできます。

5. 設定方法(DIP スイッチ)

コントローラ内部の DIP スイッチで各種設定が変更できます。

※ DIPスイッチ設定は、コネクタを挿す前に設定して下さい。

出荷時はすべてONになっています。



番号	設定項目	ON	OFF
①	残光時間	長い	短い
②	点滅	左右交互	左右同時
③	点滅回数	3回 (左右交互の場合、計4回)	2回
④	未使用		

6. 設定方法(純正ライトスイッチ)

純正ライトスイッチ(スモール)のオンオフで各種設定が変更できます。

1. ブレーキランプ残光機能の設定

ブレーキをオフしたときに、残光する、しないを設定します。初期設定は残光する設定です。

1. 車両スモールを5秒以上オンにする。
2. スモールのオフ→オン(1回)→オフ→オン(2回)→オフ→オン(3回)を3秒以内に行う。
3. 前の逆の設定になります。

2. ブレーキランプポジション化設定

スモールオン時にブレーキランプをポジション化する、しないを設定します。初期設定はポジション化する設定です。

1. 車両スモールを5秒以上オンにする。
2. スモールのオフ→オン(1回)→オフ→オン(2回)→……→オフ→オン(6回)を6秒以内に行う。
3. 前の逆の設定になります。

3. 明るさ設定

ブレーキランプポジション時の明るさを10%から80%まで無段階に設定できます。初期設定は40%設定です。

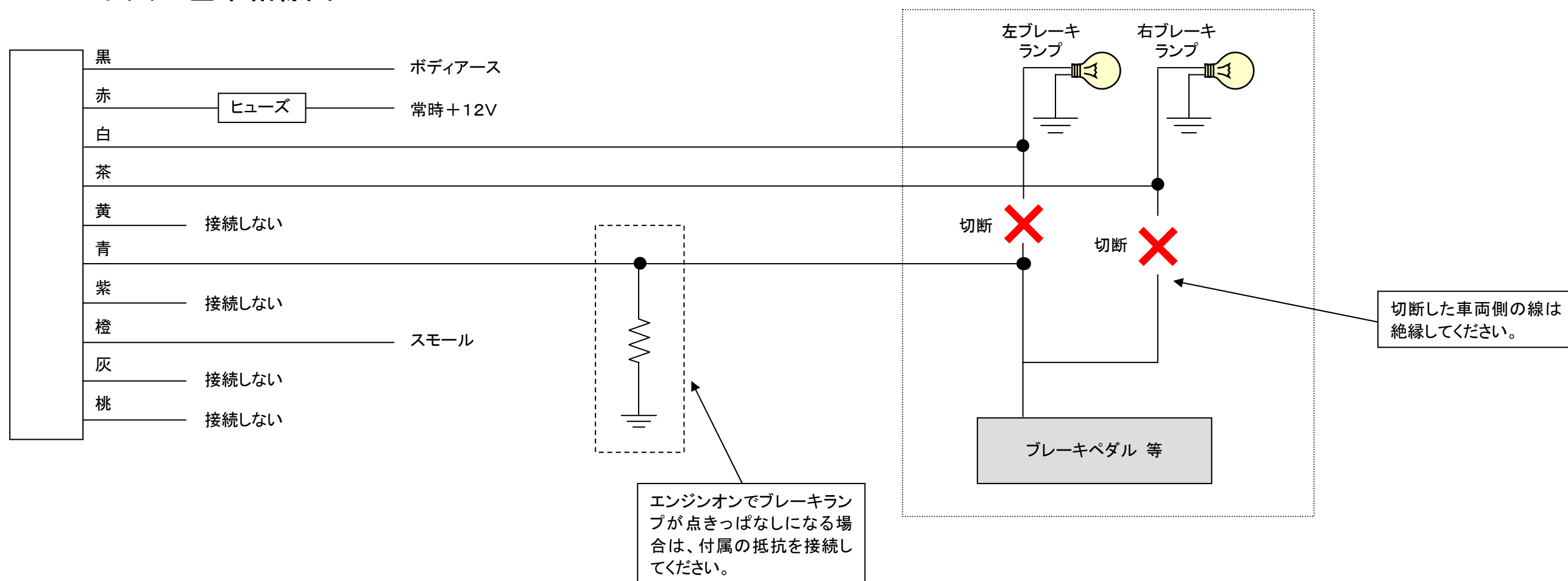
1. 車両スモールを5秒以上オンにする。
 2. スモールのオフ→オン(1回)→オフ→オン(2回)→……→オフ→オン(9回)を9秒以内に行う。
 3. 10%の明るさからゆっくりと80%の明るさまで変化します。
 4. 希望の明るさになったときにスモールランプをオフします。
- ※ 最後にスモールランプをオフしない場合は60%に設定されます。

4. 純正戻し

パパッとブレーキの機能をオフにし、純正の状態に戻せます。

1. 車両スモールをオンにする。
2. スモールのオフ→オン(1回)→オフ→オン(2回)→……→オフ→オン(12回)を12秒以内に行う。
3. ウィンカーポジションの機能がオフになります。(オフの場合は、オンになります。)

10ピンコネクタ 基本結線図



配線検査方法

	手順	正常	異常	原因・備考
1	コネクタを接続する。	両ブレーキランプが1回点滅する。 → 2へ。	ブレーキランプが点滅しない。	①黒線・②赤線または ③白線・④茶線の結線不良。
2	コネクタを接続した状態でブレーキを踏む。	両ブレーキランプが左右交互に4回点滅した後、 点灯し続ける。離すとじわっと消灯する。 → 3へ。	ブレーキランプが点滅しない。	⑥青線の結線不良。
3	スモールをオンにする。	ブレーキランプが減光点灯する。	減光点灯しない。	⑧橙線の結線不良。